会話を盛り上げ、親しんでもらうコンピュータ A-2-1 みんなの会話を盛りあげるシステム キャンプ

- 感情に働きかける思考喚起型多人数対話システム -

どんな研究?

- •協同学習やデイケアサービスといった大勢 ・複数の人間が集う会話の場において、人間 の発言を引き出し、会話を盛りあげるため
- の研究です. • クイズ形式のやり取りと対話エージェント
 - が適切な感情を表すことにより、飽きの こない、活発な会話を実現します.

思考喚起型多人数対話システム キャンプ

CAMP: Communication Activation in Multi-Party dialogue

複数の人間と複数の対話エージェントが思考喚起型対話

が集う場において、人々のコミュニケー

もたらされる変革

ションを促進することができます. 対話エージェントが人々の活動の場に 寄り添い、人々の学習効果の向上や活発な 交流を支援することにもつながります.

クイズ形式のやり取りで

難しい順にヒントを提示

人間とともにクイズに回答

• 人間の思考を喚起

・人間が自ら考える

人間のコミュニケーションが

活発化

・人間が感じる満足度が向上

統計的に有意な効果であること

• 人間の発言量が増加

を実証(有意水準 0.001)

ように動機づけ

(クイズ形式の対話)を行う対話システム クイズを出題する 対話エージェント ふーふー

だよ



太郎さん(人間) ふーふー>次のヒント. 鎌倉幕府の第3代将軍

きのこ >誰だろう. 頼朝かな

ふーふー>惜しい. 源頼朝じゃないよ 一郎さん>分からないなあ きのこ >難しいよねえ

太郎さん>源実朝でしょ ふーふー>あたり、正解は源実朝だね

ふーふー>正解できてすごい!よく分かったね きのこ >太郎さん, すごいなあ

回答する

対話エージェント

一郎さん>太郎さん、よく知っているね 太郎さん>それほどでも きのこ >自分で正解できなくて、悔しいなあ



きのこ

共感的感情の表出

自己中心的感情の表出は

満足度や発言量に影響なし

対話の流れに応じた



一郎さん(人間)

関連文献

浅井, 堂坂, 東中, 南, 前田, "多人数対話における対話エージェントのコミュニケーション活性効果." 言語



処理学会第15回年次大会発表論文集, D3-3, pp. 454-457, 2009.

連絡先: 堂坂浩二 (Kohji Dohsaka)

メディア情報研究部 コミュニケーション環境研究グループ